

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

「自分の力で学力アップ」を目指して

相馬市立中村第二中学校

「学習の手引き」の作成や、「中村二中版家庭学習スタンダード」を配付し、学校と家庭の連携を図ることで、学習に取り組む環境を整えることで、自らの力で学習や生活を改善しようとする力の育成に取り組んでいる。

取組のねらい

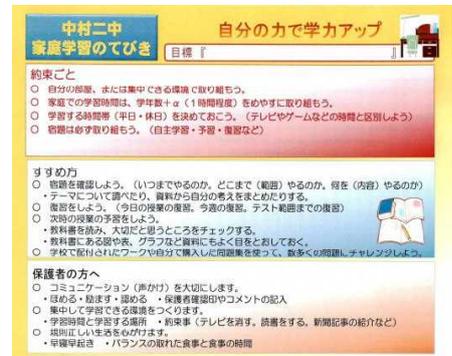
「自分の力で学力アップ」を目指し、自らの課題に沿った学習計画を立て実行しようとする態度を育てる。

中学校においては、定期テストや各種テストに向けて常に目標や計画を立てて取り組ませている。これまでの学習を振り返り、新たな目標に向けて修正し実行する「自己マネジメント力」の育成を目指す。

取組の内容

1 「学習の手引き」の作成

教科ごとに学習のねらいや学習内容、授業の取り組み方や家庭学習の仕方などをまとめた「学習の手引き」を作成した。1年生のオリエンテーションで配付し、3年間の学習の見通しを持たせることで学習への意識付けを図る。



2 「中村二中版家庭学習スタンダード」の配付

学習の進め方や約束事、保護者への協力依頼などをまとめた「中村二中版家庭学習スタンダード」を作成した。学習時間の目安や場所などの約束事や、宿題や予習・復習などの進め方、保護者の方への確認印やコメント記入の依頼、規則正しい生活を心がける習慣づくり等と呼びかけることで家庭学習の充実を図る。

3 宿題確認ボードの設置

毎日の宿題を確認することで、計画的に学習を進めることを目的とする。宿題量を調整するためにも利用できる。

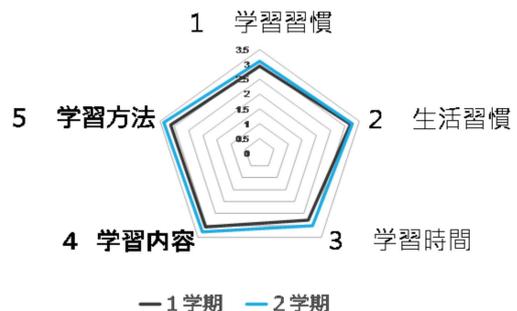
4 学び続ける態度を育成するために

新たな学びを促すために、終末に次時につなげる発問をすることで、授業と家庭学習の連携を図る。

実践して見えてきたこと

「学習の手引き」と「中村二中版家庭学習スタンダード」を配付したことで、学習方法の改善が見られるようになった。「家庭での学習・生活チェックシート」によるアンケート結果からも、計画的な取組や目標の設定、見直しや間違い直しなどの振り返りが向上した。今後は、授業と家庭学習の連携を意識し、さらなる学習意欲の向上や新たな課題につなげるための「振り返り」の時間の充実を図りたい。また、家庭学習の充実に向けて、授業でのノート指導や家庭学習ノートの使い方について小・中間の連携にも取り組んでいきたい。

家庭での学習・生活チェックシート



「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

連続した学びを重視し、主体的に学ぶ意欲を育む家庭学習の在り方

相馬市立中村第二小学校

学びのスタンダードの研究により、教職員が指導技術の共有化を図り質の高い授業を展開するようになった。それに伴い、児童は思考力・判断力・表現力の向上が見られるようになった。一方、学習した内容の振り返りや反復が足りないため、授業で得た見方・考え方を生かしていくような発展的な学習ができていない点や、基礎的な知識・技能の定着が十分とはいえない点が課題として挙げられた。そこで、本校独自に作成した「家庭学習スタンダード」をもとに、学校の授業と家庭学習が連動する課題の出し方を検討し、児童に確かな資質・能力を育むための家庭学習を実践していった。また、家庭学習の重要性に鑑み、「家庭学習スタンダード」の取組への理解と支援について保護者に継続的に啓発することで、学校と保護者が共通の理解に立ち、双方向の支援を通して児童が意欲的に学習に取り組んでいけるよう指導に当たっている。

取組のねらい

- 本校独自の「家庭学習スタンダード」をもとに、家庭学習と授業の関連を重視した家庭学習を通して、主体的に学ぶ学習習慣を身に付け、思考力と基礎的な知識・技能の向上を図る。

取組の内容

1 本校独自の「家庭学習スタンダード」を作成する。

- (1) 保護者に対し、家庭学習の意義、学校としての取組の意図について理解を求める。
- (2) 学年に応じた家庭学習のポイントを提示する。
- (3) ノートの使い方、丸付けの協力、評価コメントの記入の協力をお願いする。

2 学習習慣の定着と学力向上を図る。

- (1) 基礎学力の定着を図る課題に取り組ませる。(漢字・計算・音読・調べ学習など)
- (2) 授業で学んだことを振り返る。(復習)
 - ・ 板書で書いた内容の整理
 - ・ 単元テスト、学力テストの過去問題の復習
- (3) 自分で創意工夫できる課題に取り組ませる。(予習)
 - ・ 授業に合わせた復習や予習、調べ学習をする。
 - ・ テストに向けて学習をする。
 - ・ 興味のあることについて知識を広げたり、深めたりする学習をする。
- (4) 発展問題の取組
 - ・ 教師による自作テスト(チャレンジ問題)や、活用力育成シート、各種学力調査過去問題など、活用力を定着させる問題に取り組む。
- (5) 週末読書をする。→ 読書賞の授与



3 N I E学習で要約力を身に付ける。(新聞記事の要約学習)

- (1) 本校独自のN I E学習として「記事の見出し」、「200字程度の要約文」、「言葉の意味調べ」、「感想」を記入するワークシートを作成し、読む力、書く力の向上を図る。教員は、要約文の添削や評価コメントを記入するなど、児童の取組に対する指導と評価を行う。
- (2) 保護者と学校のコメント欄を設け、双方向のやり取りを通して、児童の成長を確かめ合い、取組に対する支援と協力を求める。

4 魅力ある自主学習ノートづくりを指導する。

- (1) つまづきの気付きと克服
自分がつまづいているところを発見し、吹き出しや枠を使って表現することで、自己を客観視できるようにする。
- (2) やる気を起こす評価の工夫
 - ・ 友だちの自主学習ノートを回覧したり、学級通信に載せたりして質の高い学習の仕方を学び合う。
 - ・ 担任がアドバイスや称賛を書き込み、評価する。
 - ・ 家庭と学校のコメントを交流し、子どもの学習状況をお互いに励まし、次の学びへのモチベーションを高める。

5 自主学習ノート展の開催

- (1) 授業参観時に合わせ、自主学習ノート展を開催し、児童・保護者が自由に優秀なノートを参観できる機会を設ける。

実践して見えてきたこと

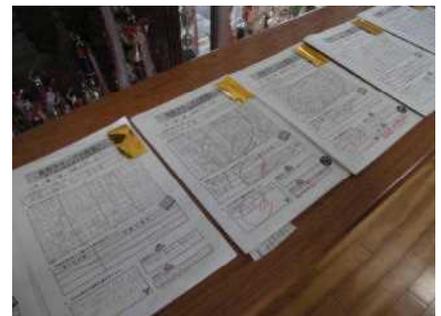
1 成果

- 学習習慣が身に付き、自分で目標や課題を見つけ、解決していく力を身に付けることができた。
- 家庭学習を継続することによって、学習に対する意欲や集中力の高まりが見られ、自分自身の学びを振り返ることにつながった。
- 授業内容の理解がよく、積極的に学習に取り組むようになった。
- 自主学習ノートを見せ合うことは、提出の苦手な児童に効果があり、友だちの学習の仕方を参考にしながら取り組むようになってきた。
- 吹き出しを書くことによって、自分の思いや考えを表出するノートに変わってきた。
- 国語、算数の単元テストの学級平均点に向上が見られた。



2 課題

- 適切なアドバイスやコメントの与え方を工夫する。
- 教師同士が家庭学習について話し合う機会をもち、効果的だった課題については情報を共有する。
- 家庭学習強化期間などを設け、学校全体で取り組む意識を高める。
- 内発的動機付けだけでなく、賞を与えて称賛するなど、外発的動機付けを促す教師の働きがけが必要である。



平成 30 年度 相馬市立中村第二小学校

「家庭学習スタンダード」

保護者向け



人は、生涯にわたって学び続けます。

小学校段階から、自らの課題に気付き、自分で学習や生活を見直し改善していく「自己マネジメント力」を育てていけるよう、家庭学習を推進していきましょう。

家庭学習＝宿題＋自主学習

1 家庭学習の意義

学校では、基本的には毎日宿題を出しています。それは、学校で学習したことを復習したり、これから学習することを予習したりすることによって、一層の学力向上が図れること、そして学習習慣を身につけられるようにするためです。けれども、宿題＝家庭学習ではありません。各ご家庭で、宿題の他に、お子さんの興味・関心や得意・不得意を考えて、自主学習に取り組みましょう。



「教えてもらう立場」から「自分で学習や生活を改善する力（自己マネジメント力）」を身につけることは、これからの成長に欠かせません。

家庭学習によって、次のような教育効果が挙げられます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

① 学習習慣が身につく

- 毎日の家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。

② 学習内容が定着する

- 学校で学習したことを家庭で復習することにより、学習内容が定着するようになります。特に漢字や計算は、毎日くり返し練習することでより定着し、学習に対する自信がもてるようになります。

③ 我慢・根気・集中力がつく

- 家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。これらの誘惑に負けず家庭学習をすることにより、我慢や根気、集中力を養うことができます。毎日一定の時間に集中して勉強することが大切です。

④ 家族のふれあいのきっかけになる

- 「音読している時、横で一緒に聞いてあげる」「勉強がわからない時、アドバイスしてあげる」など、必要に応じて家族がかかわることにより、家族のふれあいの機会になります。また、子どもの心の安定にもつながります。

2 家庭学習の方法

宿題

- ・学校では基本的に毎日音読・漢字・計算などの宿題を出します。
- ・終わったら、保護者の方にサインをしてもらいます。

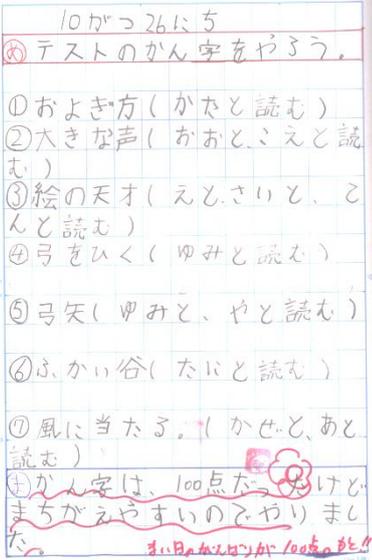
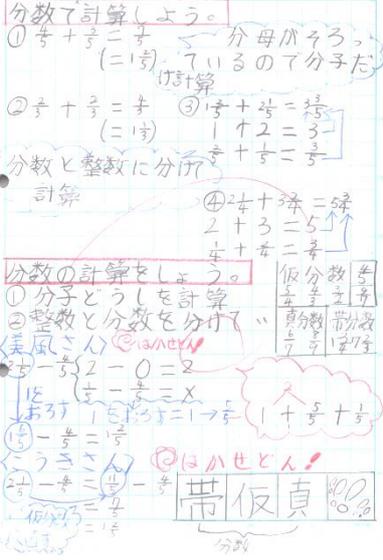
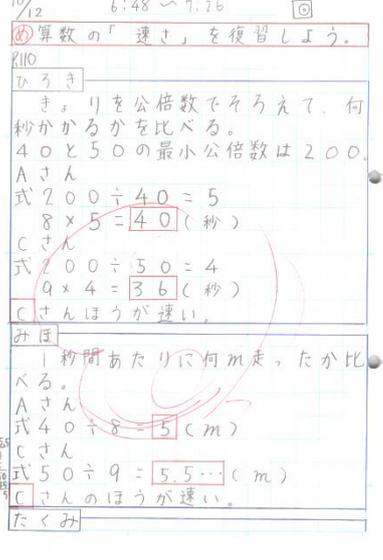
自学

- ・学校では、ノートの使い方を指導します。
- ・終わったら、保護者の方に丸つけとサインをしてもらいます。
- ・お子さんのノートに対して「認める」コメントをもらいます。（最低でも週に1回）

準備

- ・鉛筆や色鉛筆を削ります。
- ・翌日の持ち物を確認し、しっかり整えておきます。

3 中村第二小学校における自主学習の取り組み方

低学年	中学年	高学年
		
1ページ以上	2ページ以上	
学習の最初に「めあて」、終わりに「ふり返り」を入れる		
		学習計画を立てる

4 家族のかかわり方

家庭学習には、家族の協力が必要です。以下の4点に留意してください。

- ① 毎日必ず続けさせる。
- ② 学習する時刻や時間を決める。
- ③ 学習中はテレビを消すなど、集中できる環境をつくる。
- ④ 子どものがんばりを認める言葉がけをしたり、コメントを入れたりする。(週に1回)

5 学年別のポイント

低学年

一緒に取り組み、やる気を引き出しましょう！

- ・低学年は、家庭学習の基礎を培う段階です。お子さんと一緒に学習内容ややり方を決めて、家庭学習の習慣をつけさせましょう。
- ・自学の丸つけやサインを、目の前でしてください。
- ・できたことをほめることで、さらにやる気を引き出します。

中学年

認めて、ほめて、自信をつけさせましょう！

- ・中学年では、必要に応じて手助けをすると、少しずつ自分でできるようになり、できた体験を重ねることで、自信をつけていきます。
- ・自学の丸つけやサインを、目の前でしてください。
- ・家族のアドバイスや励まし、賞賛で意欲が高まります。

高学年

家族の見守りや応援が意欲につながります！

- ・高学年では、より一層、自主的な学習が期待されます。家族から見守られているという安心感の中で、お子さんを伸ばしましょう。
- ・高学年だからといって自主性に任せきりにするのではなく、宿題にはサインを、そして自学にはコメントをするなど学習に積極的にかかわってください。
- ・がんばりや成長を認めることで、学習意欲が高まります。

家庭学習に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

相馬市立中村第二小学校 Tel 0244-38-8104

中村二小 家てい学習スタンダード



平成 30 年度
相馬市立中村第二小学校
1、2年生用



時間の目安

20分

1 家てい^か学習^{がくしゅう}のすすめかた

しゅくだい

- ・学校で出されたドリルやプリントをやります。
- ・おわったら、お家の人にサインをしてもらいます。

じがく

- ・その日学校でべんきょうしたことに合わせて、じしゅ学習をします。
- ・終わったらお家の人に丸つけをもらって、サインやコメントをもらいます。

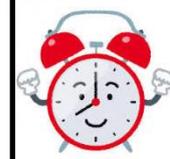
じゅんぴ

- ・えんぴつや色えんぴつをけずります。
- ・つぎの日のもちものをかくにんして、しっかりじゅんぴします。

学習のはじめは、めあてに書きます。
学習のさいごにはふり返しを書きましょう。

2 じしゅ^{がくしゅう}学習メニュー

1	その日にならったことを教科書 ^{きょうかしょ} やノート ^{いちど} を、もう一度まとめる。
2	テストやプリントのまちがいなおしをする。
3	ドリルや教科書 ^{きょうかしょ} の問題 ^{もんだい} を使って、かん字 ^{けいさん} や計算のれんしゅうをする。
4	日記 ^{にっき} を書く ^か 。
5	さんすうのぶんしょうもんだいをじぶん ^{つく} で作る。
6	ふしぎにおもったところやわからないところを、じてんや図 ^ず かんでしらべる。



時間の目安

40分

1 家庭学習の流れ

宿題

- ・学校で出されたドリルやプリントをやります。
- ・終わったら、家族にサインをしてもらいます。

自学

- ・その日学校で学習したことに合わせて、自主学習に取り組みます。
- ・終わったら自分で丸つけをし、家族にサインやコメントをもらいます。

準備

- ・鉛筆や色鉛筆を削ります。
- ・翌日の持ち物を確認し、しっかり整えておきます。

学習のはじめは、めあてに書きます。

学習のさいごにはふり返しを書きましょう。

2 自主学習メニュー

1	その日の習ったことを教科書やノートで、自分なりにまとめ直す。
2	テストやプリントのまちがい直しをする。
3	ドリルや教科書の問題を使って、漢字や計算練習をする。
4	日記を書く。
5	算数の問題作りをする。(かけ算・わり算など)
6	理科や社会では、学習したことをイラストや文章でまとめる。
7	新聞や本などの記事をコピーしてノートをはり、意見や感想を書く。
8	自分がきょうみのあることやふしぎだなと思うことを調べ・考える学習に挑戦する。



時間の目安

60分

1 家庭学習の流れ

宿題

- ・学校で出されたドリルやプリントをやります。
- ・終わったら、家族にサインをしてもらいます。

自学

- ・学習計画やその日学校で学習したことに合わせて、自主学習に取り組みます。
- ・終わったら自分で丸つけをし、家族にサインやコメントをもらいます。

準備

- ・鉛筆や色鉛筆を削ります。
- ・翌日の持ち物を確認し、しっかり整えておきます。

学習の最初は、ゆあてに書きます。

学習の最後にはふり返しを書きましょう。

2 自主学習メニュー

1	その日の授業で学習した教科書やノートを、自分なりにまとめ直す。
2	テストやプリントの間違い直しをする。
3	漢字や計算など、基本的な学習をする。(ドリルや教科書の問題)
4	新聞記事の要約、感想、意見をまとめる。※ 月に2回は必ずやる。
5	日記を書く。
6	算数の問題作りをする。(小数・分数・割合・百分率・比例・速さなど)
7	理科や社会では、学習したことを図や表・グラフ・文章でまとめる。
8	興味のあることや疑問に思ったことを追究する調べ・考える学習に挑戦する。



目標 『

』

約束ごと

- 自分の部屋、または集中できる環境で取り組もう。
- 家庭での学習時間は、学年数+ α （1時間程度）をめやすに取り組もう。
- 学習する時間帯（平日・休日）を決めておこう。（テレビやゲームなどの時間と区別しよう）
- 宿題は必ず取り組もう。（自主学習・予習・復習など）

すすめ方

- 宿題を確認しよう。（いつまでやるのか。どこまで（範囲）やるのか。何を（内容）やるのか）
 - ・ テーマについて調べたり、資料から自分の考えをまとめたりする。
- 復習をしよう。（今日の授業の復習。今週の復習。テスト範囲までの復習）
- 次時の授業の予習をしよう。
 - ・ 教科書を読み、大切だと思うところをチェックする。
 - ・ 教科書にある図や表、グラフなど資料にもよく目をとおしておく。
- 学校で配付されたワークや自分で購入した問題集を使って、数多くの問題にチャレンジしよう。



保護者の方へ

- コミュニケーション（声かけ）を大切にします。
 - ・ ほめる・励ます・認める ・ 保護者確認印やコメントの記入
- 集中して学習できる環境をつくります。
 - ・ 学習時間と学習する場所 ・ 約束事（テレビを消す。読書をする。新聞記事の紹介など）
- 規則正しい生活を心がけます。
 - ・ 早寝早起き ・ バランスの取れた食事と食事の時間